

日程 2024 8.17sat - 25sun  
時間 10:00 - 18:00 最終日は17:00まで  
会場 さいき城山桜ホール 大ホール

来館者数  
100万人達成記念料金  
入場無料

# アデ佐伯 デジタル 展

つながり、かなでる。


光と音が織りなす体験型ミュージアム



高橋一生  
光のバトンパフォーマンス

8.24sat・25sun  
11:00・13:00・15:00・17:00

\\ 特設ページはコチラ /

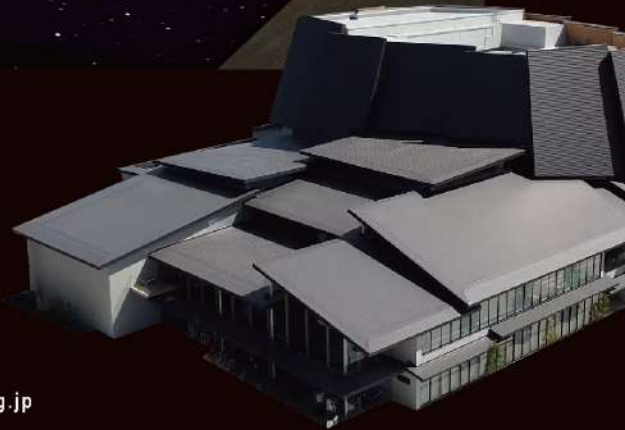
【主催】  さいき城山桜ホール

【後援】 大分合同新聞社、OBS大分放送、TOSテレビ大分、OAB大分朝日放送、FM大分、シティ情報おおいた

【企画・制作・演出】 穴井 佑樹 (non-classic 株式会社代表)

【プロデュース】 Knot Factory

【お問合せ】 さいき城山桜ホール Tel 0972-24-2228 [ootemae@city.saiki.lg.jp](mailto:ootemae@city.saiki.lg.jp)



つながり、かなでる。

# 佐伯 デジタルアート展

ニューヨーク、ギリシャなど世界各国で作品展示を行う  
アーティストの穴井佑樹氏（ノンクラシック社代表、大分市出身）が  
手掛ける、体験者の動きによって変化する  
最先端のデジタルアート作品がさいき城山桜ホールに大集合！  
この夏、大人から子どもまで楽しめる、光と音が織りなす  
魔法のようなデジタルアートをみんなで体感しよう！



## bouncer / バウンサー

光る台座に乗ると、乗った人の動きで音と光がダイナミックに変化していく作品。それぞれの台座には異なる楽器が割り当てられており、リズムの変わり方も様々。複数人で遊ぶと、その場でセッションのように音が奏でられる。



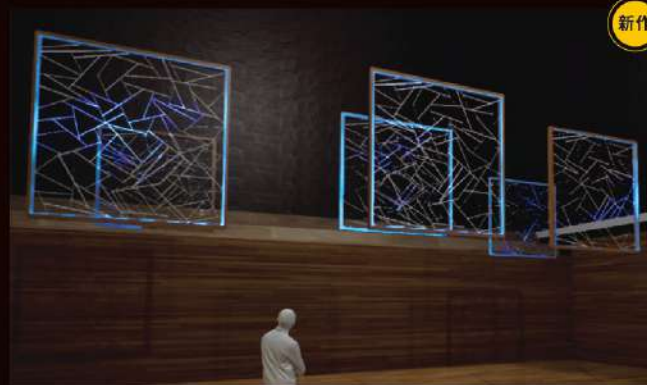
## emitter / エミッター

体験者の声や足音に反応する作品。光の柱に近づきタップを踏んだり、声を上げると、光が立ち上がっていきます。タップのリズム感や、声の大きさにより光の速さや色味も変化していきます。



## voice of yours / ボイス オブ ユアーズ

コトダマという言葉があるように、言葉には魂が宿っている。自分が発した言葉が、形となり、空から降り注いでくる。普段何気なく話している言葉が文字という形になって見えることで、言葉の意味を改めて考えてみる作品。



## saiki layers / サイキ レイヤーズ

佐伯の人々が織りなす重奏的なレイヤーを、実際に住む人が糸をつむぐことで実体化させ、そこに光を用いて照らし出すことで、佐伯の豊かな関係性を表現した作品。



### 穴井 佑樹 Yuki Anai

メディアアーティスト。1987年大分県生まれ。慶應義塾大学大学院メディアデザイン研究科修了。「自然はメディアである」をコンセプトに、自然の持つ多様な側面や、自然から発せられるメッセージを、光や音などの多様なメディアを用いた表現を行う。メディアアートの世界的な祭典「Ars Electronica」(オーストリア・リンツ)や、国際なデジタルアートフェスティバル「Athens Digital Art Festival」(ギリシャ・アテネ)、国際現代芸術祭「中之条ビエンナーレ」(日本・群馬県)で招聘される。また、JR大分駅や中央通りなどの、大分市中心部を彩る冬の風物詩「おおいた光のファンタジー」の総合演出(〜2019)を手掛けるなど、国内外問わず活動を行う。

